

アグリノート 衛星リモートセンシング サービス

- ✓ アグリノートにリモートセンシング機能が標準実装
- ✓ 作物の生育状況が見える化し、栽培記録と一括で管理
- ✓ スマート農機と連携した可変施肥にも対応

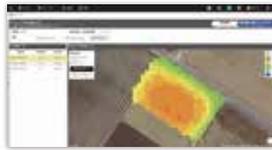


衛星リモートセンシングで何ができる?

アグリノート衛星リモートセンシングでできること

現状把握

圃場の“今”を把握する



圃場全体の生育状況をリモートセンシング画像で可視化。
今取るべき対応の判断材料にできます。

アクション

圃場の“これから”を対処する



現在の生育状況と過去の変化から得られた示唆をもとに、
作業の計画や可変施肥のマッ
プを作成。

振り返り

圃場の“これまで”と比較する



リモートセンシング画像を時系列で表示し、作業・施肥・防除の記録と照らし合わせることで
生育差の要因を振り返れます。

日々の記録に生育の「見える根拠」を



作業記録の蓄積



生育状況・推移の可視化

- ✓ 施肥や防除の結果が画像で見える
- ✓ 次に行うべき作業の示唆が得られる



“なぜこの圃場はこうなったのか”を
根拠を持って説明できるようになります!

利用開始までの流れ

アグリノートの 利用開始



アグリノートの無料会員登録フォームより会員登録を行います。

圃場・作付を 登録する



アグリノートに圃場と作付（栽培品目）を登録します。（衛星リモセンの利用には圃場・作付の登録が必要となります）

登録した圃場に リモセン画像が更新



アグリノートのメニュー【記録を見る > 生育タブ】にリモセン画像が反映されます。

※リモートセンシング機能は PC ブラウザ版のみ対応 ※初回の画像取得には圃場数に応じて時間を要する場合があります

対応農機との連携で可変施肥！

かんたんに施肥マップを作成可能

アグリノートのメニュー【施肥マップ】からは可変施肥対応農機に読み込ませる ISOBUS データを作成することができます。難しい設定や専門知識は不要です。



サービス仕様

標準画像版は無料で利用できます！

	いつでも無料 標準画像版	無料トライアル中 高精度画像版
	日々の栽培判断や次の一手を 考えるための“ちょうどいい情報量”	もっと高精度に頻度高く見たい方 可変施肥を行いたい方
データソース	Sentinel-2	PlanetScope
解像度	約10mメッシュ	約3mメッシュ
撮影頻度	約5日に1回が目安	ほぼ毎日（1日～数日おき）
画像表示	低速	高速
利用開始	追加申込み不要	会員ポータルから申込み必要

今なら

高精度画像版
無料トライアル中！

今なら、高精度画像版が無料で使えるチャンス！今すぐ無料登録をして体験してみてください！

▼詳しくはこちら



よくある質問

Q. 全ての農機で可変施肥ができますか？

A. 可変施肥マップは、特定の可変施肥田植え機などに対応しています。詳しくはアグリノートの Web サイトをご覧ください。

Q. 対象作物はなんですか？

A. リモートセンシング画像は露地作物全般に対応しています。可変施肥マップは、現状では水稻のみの対応となります。

Q. 機能の利用にアグリノートの有料プランは必要ですか？

A. いいえ、無料プランでアグリノートをご利用の方も、リモートセンシング機能を利用できます。

まずは無料プランからお試しく下さい

PCから登録

https://agri-note.jp/trial_form/

スマホアプリから登録



Download on the
App Store

Google Play
で手に入れよう



rimosen_202603